

第 1 回有識者会議における委員意見に対する対応

委員意見(抜粋・要約)	構想(素案)への反映等
1. 具体性	
<ul style="list-style-type: none"> ■ ある程度エリアを決めて、そこにコミュニティを活かせる機能を付加してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 ライフスタイルに応じた雇用と生きがいの創出
<ul style="list-style-type: none"> ■ 来福台の立地や環境は魅力的であり、そこに自立型施設を整備し、配食サービスなどの事業所を誘致すれば効率的なサービスが可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-6 生活環境と医療・介護サービス
<ul style="list-style-type: none"> ■ 就労～「生きがい」の探求では、移住者のスキルを活かした創業や就業の支援や後継者としての利用促進、農林産物の高付加価値化やブランド化、6次産業化への移住者の参加促進と人材育成。(秋芳なし、美東ごぼう、ごぼうそばなどの具体例) 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 想定モデル I 『就農』
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地球公園～「誇り」の醸成では、精神的な誇りだけではなく、ジオパークの保全など、移住者が参画できる仕組みを提示。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 想定モデル II 『観光・文化活動』
<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来的にも (50 年以上先)、アクティブなまちづくりを計画するには、妊孕性のある若い世代の男女をいかに定住させるかが最も重要である。そのためには、若い人にとって美祢市で生きがいのある日常が送れることが必要であり、美祢市の地域特性である農業か果樹園を含めた林業において他地域に見られない特産物 (付加価値のあるもの) の創造・開発を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 想定モデル I 『就農』
<ul style="list-style-type: none"> ■ 美祢市 CCRC 基本コンセプトとして都会からの移住並びに市内移動による「まち」づくりを行うことを目標とし、美祢市全域、特に大嶺地区で高齢者が希望と安心が享受できる特区を設定してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-7 実施・検討される施策及びメニュー ❖ 今後、策定する基本計画や事業計画で検討していく。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 街路を新設し「まち」をあつくる <ul style="list-style-type: none"> ・街路の新設 遊ぶ・買物・観る・住む・憩う ・憩いのゾーンづくり ・多目的広場の小イベント利用 (交流の場) ・シニア活躍店ゾーンでの経験を活かした新規開業を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 想定モデル IV 『起業』
<ul style="list-style-type: none"> ■ 生きがい対策の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・花、花木を植え、メルヘン調等建築協定を結ぶ。 ・経験を活かし、菓子づくり、喫茶、パンづくり等が展開できる人のみ誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 想定モデル IV 『起業』

委員意見(抜粋・要約)	構想(素案)への反映等
<ul style="list-style-type: none"> ■ 第6次産業化に参画 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物・林産物等の加工を、各家庭で行い成果品を販売 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 想定モデルI 『就農』
<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者専用住宅の建設 <ul style="list-style-type: none"> ・現役老人卒業者の専用住宅は、既存の建物の利活用(雇用促進住宅) 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-6 生活環境と医療・介護サービス
<ul style="list-style-type: none"> ■ その他、ジオパーク認定を活用、多世代が安心して暮らせる環境づくり、周辺移住希望者対策など。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-7 実施・検討される施策およびメニュー
<ul style="list-style-type: none"> ■ 大都会より良く、自分に適した環境や仕事があり、ここで暮らそうと思う要素が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 ライフスタイルに応じた雇用と生きがいの創出
<ul style="list-style-type: none"> ■ アクティブシニアを中心とした移住環境を整え、地域包括ケアシステムに合わせサービス付高齢者向き住宅に誘導する仕組みづくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-6 生活環境と医療・介護サービス
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元に誇りを持てる、そして住みたくなる具体的な施策や企画を作った上で、それを織り込んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 ライフスタイルに応じた雇用と生きがいの創出
<ul style="list-style-type: none"> ■ 住民と行政が連携し、移住者を迎えられる体制をつくることから始まる。全国で取組が進む中、移住者を迎え入れるためには、美祢市の魅力を前面に出さなければと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 ライフスタイルに応じた雇用と生きがいの創出 ❖ 5-7 実施・検討される施策及びメニュー
<h2>2. 情報発信</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 移住者と外部(都市圏の子どもや親戚などの親族)をつなげるTV電話を移住者家族へ無償設置することで安心の提供や美祢の良さを視覚で伝えることも可能となり、親族の観光動機や移住動機につながるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 想定モデルI 『就農』
<ul style="list-style-type: none"> ■ 構想・計画は策定して終わりではなく、その成果が重要であり、その意味でも練り上げられた構想・計画をどう情報発信していくかが最も成果を左右することから、情報発信革命を起こすくらいの勢いで加筆していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 具体的な手法は、今後策定する基本計画において検討していく。
<h2>3. 事業化に向けた推進体制</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 次世代へとつないでいく構想を検討する場であるので、現委員に加え、若い世代(多世代)、男女、地域性(美祢・秋芳・美東、中心部・周辺部)。活動分野領域など、多くの観点からの参画も検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 6-1 事業化に向けた計画策定関係者としての参画を検討

委員意見(抜粋・要約)	構想(素案)への反映等
<ul style="list-style-type: none"> ■ これを具現化するために、従来、連携や協働がなかった、或いは弱かった分野同士の出会いや協働の仕組み作りをコーディネートする窓口を明らかにし、機能の充実を図ることも平行して進めてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 6-1 事業化に向けた計画策定関係者としての参画を検討
<ul style="list-style-type: none"> ■ 今後については、若い人や女性の意見や考えが反映できる組織が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 6-1 事業化に向けた計画策定関係者としての参画を検討
<ul style="list-style-type: none"> ■ 皆が健康で魅力ある地域づくりには、コミュニティの拠点、生ため涯スポーツでの交流の場、3世代で取組む行事に取組むにも、地域を牽引するリーダーの養成が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 今後計画を策定していく過程において、関係者となる行政や事業主体、NPO法人などの中から選出し育成していく。
4. 移住者対策	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加～「幸福感」の向上では、シーズと現在行われていることだけではなく、移住者を含めた地域間交流、世代間交流を進めるような具体的なことも記載し、山口県が予算で打ち出している、移住者が移住者を支える「やまぐち移住倶楽部」的な発想を盛り込んではどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-5 ライフスタイルに応じた雇用と生きがいの創出 ❖ 5-7 実施・検討される施策及びメニュー
<ul style="list-style-type: none"> ■ 産学官民連携による IoT を全面導入することで、美祢市民の精神的・生活欲求と物理的・生活欲求の充足が図られる。こうした先進的な取り組みを美祢市出身者や山口県出身者、県外出身者へ発信し移住につなげる仕組みづくりを行ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 5-4 美祢市「生涯活躍のまち」イメージ図
<ul style="list-style-type: none"> ■ CCRC だから 50 歳以上をターゲットとするのではなく、もっと老若男女の意識をストレートに表現すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 全体的に極力高齢者に限定しない表現とした。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 国が言っているから首都圏ではなく、福岡市の方がよほど可能性は大きいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 全体的に首都圏に限定しない表現とし、詳細なターゲット選定は基本計画や事業計画において検討する。
5. 表現・構成	
<ul style="list-style-type: none"> ■ サブ表題「共につくる地球公園暮らし」や CCRC について一般の人がわかりづらいので注釈を入れてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 表紙の一部変更 ❖ CCCR の注釈を掲載
<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業化プロセスや構想実現のイメージ図のほかに各主体の役割分担と連携のイメージ図を入れてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 6-1, 2 事業化に向けた計画策定